

「収量センサ付きコンバイン」+「データを産地内で共有し、次期栽培に活用」

<取組概要>

ソバにおいて、営農管理システムと連携する収量センサ付きコンバインを新たに導入し、当該コンバインから得られるデータ（収量・水分量等）及び営農管理システムに記録したデータ（生育状況、施肥量等）を産地内の他の農場者と共有・分析し、次年度の栽培管理の最適化を図る。

<申請者>

農事組合法人 魁（山形県尾花沢市）

◆経営概況（2025年1月時点）

経営規模：ソバ 140ha、水稻 90ha

従業員数：12名

<対象品目>

ソバ

<計画の実施期間>

5年間

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



従業員の集合写真



コンバインによるソバ刈り作業

～認定を受けて一言～

当法人は、ソバの作業受託を行う上で、受託農地の拡大に伴う、データ管理とスマート農業の実践を効率的に行うため、データの共有・分析による栽培管理の最適化を行っていきます。